

教育等の振興に関する施策の大綱の骨子の方向性(案)

平成27年11月20日

高知県

# 教育等の振興に関する施策の大綱の骨子の方向性（就学前～高等学校における本県教育の主な課題と課題解決のための対策）

	学校の視点による課題と対策（知・徳・体の分野ごとに整理）		家庭・地域の視点による課題と対策（知・徳・体の分野ごとに整理）		
	<b>小・中学校</b> <b>基本方向1</b> チーム学校により組織的・協働的に目標の実現や課題の解決に取り組める学校を構築する	<b>高等学校・特別支援学校</b> <b>基本方向2</b> 厳しい環境にある子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切る支援策を徹底する			
<b>知 徳 体</b> <b>共通の課題・対策</b>	<b>課題</b> ◆各学校において育成すべき力が明確化・共有化されておらず、育成すべき力を 実現するための取組も教員の個業に任せ組織化が十分でない <b>対策</b> 1) 校長がリーダーシップを発揮して学校の組織マネジメントが効果的に推進 される仕組みの構築 <b>課題</b> ◆学校を取り巻く課題は複雑化・困難化しており、育成すべき力を身に付けさ せるためには学校内の資源だけでは十分でない <b>対策</b> 1) 地域との連携・協働の推進 2) 外部・専門人材の活用の拡充 <b>課題</b> ◆発達障害等特別な支援が必要な児童生徒が増えており、障害の状況に対応し た適切な指導を行うための教員の専門性や組織的な指導・支援が十分でない <b>対策</b> 1) 一人一人の児童生徒の障害の状況等に応じた指導・支援の充実	<b>課題</b> ◆各学校において多様な学力や進路希望、障害の状況に対応した育成すべき力が 明確化・共有化されておらず、育成すべき力を実現するための取組も教員の個 業に任せ組織化が十分でない <b>対策</b> 1) 校長がリーダーシップを発揮して学校の組織マネジメントが効果的に推進さ れる仕組みの構築 <b>課題</b> ◆学校を取り巻く課題は複雑化・困難化しており、外部の専門家の力を借りる必 要がある <b>対策</b> 1) キャリア教育や探究型学習における大学や企業との連携・協働の推進 2) 外部・専門人材の活用の拡充	<b>課題</b> ◆家庭の教育力の弱さが子どもたちの知・徳・体の育成に影響している <b>対策</b> 1) 保護者に対する啓発の強化 2) 学校や地域の力による家庭の教育力の補完 <b>課題</b> ◆家庭の厳しい経済状況を背景に高校進学や就学の継続が難しい子どもがいる <b>対策</b> 1) 子どもたちの学びの継続に向けた保護者の教育にかかる経済的負担の軽減 <b>課題</b> ◆高校中途退学等により社会的自立に困難を抱える若者がいる <b>対策</b> 1) 高校中途退学者等の就学・就労に向けた支援の充実・強化 <b>課題</b> ◆スマートフォン等の不適正な利用が子どもの知・徳・体の育成に悪影響を与えている <b>対策</b> 1) 「ネット問題」に対する県民運動の推進		
	<b>知</b> <b>目指す姿</b> ●小学校の学力は全国上位を維持 ●中学校の学力を全国平均以上に上げ ●高校生の学力を高め、希望の進路を実現	<b>課題</b> ◆中学校の学力が全国と比べて低い（特に数学） ◆小・中学校ともに思考力・判断力・表現力が弱い <b>対策</b> 1) 学力向上に向けて教員が協働して取り組むシステムづくり 2) 教員の教科指導力を向上させる機会の充実 3) 児童生徒の学習の質・量の確保に向けた取組の推進 4) 学習意欲を高めるための機会の確保	<b>課題</b> ◆義務教育段階の学力が定着していない生徒が多い ◆多様な学力と進路希望への対応が十分でない ◆思考力・判断力・表現力が弱い ◆障害の重度・重複化等が進み教育的ニーズが多様化している《特支》 <b>対策</b> 1) 義務教育段階の学力の定着に向けた取組の充実 2) 多様な学力・進路希望に対応した指導の充実 3) 思考力・判断力・表現力の育成に向けた取組の推進 4) 特別支援学校における多様な教育的ニーズへの取組の充実《特支》	<b>課題</b> ◆家庭の教育力の弱さが子どもの学力に影響している ◆学習できる環境にない家庭が多く、家庭学習の時間が確保されない <b>対策</b> 1) 放課後等における学習の場の充実 2) 厳しい環境にある子どもの学びの場への誘い	
	<b>徳</b> <b>目指す姿</b> ●生徒指導上の諸問題の状況を全国平均まで改善 ●道徳性等に関する意識を向上	<b>課題</b> ◆暴力行為・非行が多い（低年齢化が進んでいる） ◆不登校が多い（中学1年での発生が多い） ◆依然としていじめが発生している <b>対策</b> 1) 組織的に規範意識や自尊感情を育む取組の推進 2) 生徒指導上の諸問題の未然防止に向けた組織的な取組の推進 3) 生徒指導上の諸問題の早期発見・解決に向けた組織的で迅速な対応の徹底	<b>課題</b> ◆不登校、中途退学、早期離職が多い（特に不登校は中学校からの継続率が高い） ◆依然としていじめが発生している ◆目的（目標）をもっていない生徒が多い ◆社会性が身に付いていない生徒が多い ◆自ら積極的に地域や社会と関わる意欲や機会が少ない《特支》 <b>対策</b> 1) 組織的に規範意識や自尊感情を育む取組の推進 2) 生徒指導上の諸問題の未然防止に向けた組織的な取組の推進 3) 生徒指導上の諸問題の早期発見・解決に向けた組織的で迅速な対応の徹底 4) 目的意識の醸成や社会性の育成に向けた取組の充実 5) 社会参加に向けた意欲の醸成や社会性を育む取組の充実《特支》	<b>課題</b> ◆規範意識を育てるための家庭でのしつけが十分でない ◆自尊感情を育てるための家族のふれあいが十分でない ◆豊かな感性を育てるための体験活動の機会が十分でない <b>対策</b> 1) 地域全体で子どもを見守る体制づくり 2) 専門人材、専門機関との連携強化	
<b>体</b> <b>目指す姿</b> ●小学校の体力・運動能力を全国上位に上げ ●中学校の体力・運動能力を全国平均以上に上げ ●生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する力の向上 ●健康的な生活習慣の定着	<b>課題</b> ◆運動習慣が十分に定着していない ◆中学生の体力・運動能力が全国平均を下回っている ◆痩身と肥満の傾向が見られる ◆運動部活動では、生徒の能力・適性・興味・関心に応じた指導が十分に行われ ていない ◆中山間地域における運動部活動では、競技種目が限定される場合がある <b>対策</b> 1) 運動好きな児童生徒の育成につながる体育授業の改善 2) 望ましい生活習慣の定着に向けた健康教育の充実 3) 生徒の能力・適性・興味・関心に応じた運動部活動の充実	<b>課題</b> ◆小・中学生に比べて運動・スポーツの実施頻度や1日の実施時間が少ない ◆高等学校・特別支援学校では、将来の多様なスポーツライフにつなげる取組が 十分に行われていない ◆ネット依存等により、健康的な生活習慣が十分に定着していない ◆運動部活動では、生徒の能力・適性・興味・関心に応じた指導が十分に行われ ていない <b>対策</b> 1) 将来の多様なスポーツライフにつながる体育授業の改善 2) 望ましい生活習慣の定着に向けた健康教育の充実 3) 生徒の能力・適性・興味・関心に応じた運動部活動の充実	<b>課題</b> ◆家庭における運動やスポーツを行う機会が十分に与えられていない ◆基本的な生活習慣が身に付いていない ◆欠食状況にある子どもがいる <b>対策</b> 1) 運動・スポーツの機会提供 2) 保護者に対する啓発の強化 3) 欠食児童への支援		

	幼稚園・保育所等の視点による課題と対策		家庭・地域の視点による課題と対策	
	<b>基本方向3</b> 就学前の子どもたちの教育・保育環境の整備を進め「生きる力」の基礎をつくる	<b>基本方向2</b> 厳しい環境にある子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切る支援策を徹底する		
<b>目指す姿</b> ●就学前の子どもがどこにいても質の高い教育・保育を受けることができる	<b>課題</b> ◆幼稚園教育要領・保育所保育指針等を踏まえた幼稚園・保育所等で実践する教育・保育の具体的な指導方法が 明確にされていない ◆就学前と小学校の教育の違いが教員や保育者に十分に認識されておらず、小1プロブレムが発生している ◆発達障害等の特別な支援が必要な乳幼児の増加や障害の多様化により、専門的な教育・保育が求められている <b>対策</b> 1) 幼稚園教育要領等に沿った指導方法の確立 2) 幼稚園・保育所等での組織力・実践力の向上に向けた組織マネジメント力の強化 3) 保育者のキャリアステージにあった資質・指導力の強化 4) 保幼小の円滑な接続の推進 5) 発達障害等のある乳幼児への専門的な指導・支援の充実	<b>課題</b> ◆子どもに向き合う余裕のない保護者や子育てに不安や悩みを抱える保護者が多い ◆家庭の生活困窮等により、教育・保育環境が厳しい子どもたちが存在している ◆保護者の生活習慣の乱れが子どもの基本的な生活習慣の未定着につながっている場合が多い <b>対策</b> 1) 保育者の親育ち支援力の強化 2) 保護者の子育て力向上のための支援の充実 3) 幼稚園・保育所等と家庭や地域等との連携の充実 4) 保護者の経済的負担の軽減		

全体を 下支え	
<b>基本方向4</b> 安全・安心で質の高い教育環境を実現する	<b>課題</b> ◆南海トラフ地震の発生により大きな被害が予想されている ◆児童生徒数の減少に伴い、学校の活力の低下が懸念される ◆障害の重度・重複化等が進み、特別支援学校の教育的ニーズが多様化している ◆社会・経済の情報化が急速に進展している ◆教育現場を支える県と市町村の教育行政が課題を共有しベクトルを合わせて取り組むことが求められている <b>対策</b> 1) 南海トラフ地震等の災害に備えた取組の推進 2) 教育の質の維持・向上を図る視点に立った学校の再編 3) 教育の情報化の推進 4) 県と市町村教育委員会との連携・協働の充実・強化

# 教育等の振興に関する施策の大綱の骨子の方向性（私立学校、大学、生涯学習、文化、スポーツに関する主な課題と課題解決のための対策）

## 基本方向5 私立学校の振興を図る

- 課題**
- ◆私立学校においても、学力向上対策や生徒指導上の諸問題への対応は大きな課題となっている
  - ◆経済的に厳しい家庭から通う生徒は、私立学校にも多く存在する
  - ◆学校法人をめぐる経営環境は、少子化の中で生徒数も減少しており、全体として厳しい状況が続いている

- 対策**
- 1) 各学校の特色ある教育の取組への支援
    - ・個性・特色に応じた教育力強化推進の取組への支援
  - 2) 保護者の経済的負担の軽減
    - ・高等学校等就学支援金・高等学校等奨学金給付金の支給による修学への支援
    - ・授業料減免補助による低所得世帯への支援
  - 3) 各学校の教育環境の維持・向上に向けた経営支援の継続
    - ・私立学校運営費補助の維持
    - ・耐震化や学校施設の整備に対する補助の実施

## 基本方向6 社会の期待に応えるため大学の魅力を高める

- 課題**
- ◆地方では大学など高等教育機関の知の集積が地域の産業振興や地域課題の解決に極めて重要
  - ◆誰もが学び続け夢と志に挑戦できる社会の実現に向け、大学には全世代のための学びの場への転換が求められている
  - ◆若者の人口流出に歯止めをかけるためにも大学等への進学時と卒業時での働きかけが必要

- 対策**
- 1) 地（知）の拠点機能の充実
    - ・地域の活性化や課題解決に貢献する取組の推進
  - 2) 生涯学習や社会人教育の充実
    - ・大学における生涯学習・社会人教育機能の充実・強化
    - ・産学官民連携によるビジネス研修「土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）」の充実・強化
  - 3) 若者の県内定着の促進
    - ・県内高校から県内大学への進学者増に向けた取組の推進
    - ・県内大学卒業者に対する県内就職支援の充実

※大学の教育・研究活動については、地方独立行政法人法の規定により、達成すべき目標等を県が中期目標（6年間）として指示し、その中期目標に基づき大学が中期計画として策定（今回の大綱では、地方における「大学が果たすべき役割」として、県が特に求める機能を記載）

## 基本方向7 生涯にわたって学び続ける環境をつくる

- 課題**
- ◆社会教育を担う団体や人材の基盤が弱ってきている
  - ◆県全体として生涯学習を推進するための体制が十分整っていない
  - ◆県が抱える課題の解決に向けた学びのさらなる充実が必要

- 対策**
- 1) 生涯学習の推進体制の再構築の推進
    - ・社会教育関係者の資質・能力の向上に向けた支援の充実
    - ・社会教育関係者の交流促進、生涯学習機関のネットワークの構築
  - 2) 新図書館等複合施設を核とした県民の読書環境・情報環境の充実
    - ・新図書館等複合施設の開館に向けたサービスの充実・強化
    - ・県民の知的ニーズに応え、課題を解決するための図書館機能の充実
    - ・県内図書館の利用の拡大
    - ・図書館サービス等の周知
    - ・市町村立図書館等の充実・強化への支援
  - 3) 地域全体で子どもを見守る体制づくり【再掲】
    - ・学校支援地域本部による体験活動の支援や登下校の見守り等の充実
    - ・放課後子ども総合プランの推進による放課後等における子どもたちの見守りの場の拡充
  - 4) 産学官民連携による県民の学びの支援の充実
    - ・大学における生涯学習・社会人教育機能の充実・強化【再掲】
    - ・産学官民連携によるビジネス研修「土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）」の充実・強化【再掲】

## 基本方向8 文化・芸術の振興と文化財の保存と活用を図る

### 【文化・芸術の振興】

- 課題**
- ◆県民の暮らしや生活の中に文化・芸術を深く根付かせることが必要
  - ◆県民自らが文化・芸術活動に主体的に参加できることが必要
  - ◆地域の活性化に文化・芸術を活用することが重要

- 対策**
- 1) 県民一人ひとりが文化・芸術に親しむ環境づくりの推進
    - ・県立文化施設による文化・芸術に親しむ機会の提供やアウトリーチ活動等の実施
    - ・県立文化施設の整備とリニューアルの推進
    - ・学校と連携した文化・芸術活動の推進
  - 2) 文化・芸術等を活用した地域活性化の推進
    - ・高知県芸術祭や高知アートプロジェクト事業の推進
    - ・県文化広報誌による地域文化の発信

### 【文化財の保存と活用】

- 課題**
- ◆文化財の価値を維持し、後世に伝えるための対応が十分でない
  - ・文化財の適正な時期の修理等の保存整備
  - ・文化財の調査研究

- 対策**
- 1) 高知城（国史跡・重要文化財）の保存管理と整備の推進
    - ・適切な補修・保存と文化財的価値の向上に向けた取組の推進
    - ・高知城歴史博物館開館と連動した観光資源としての価値の向上に向けた取組の推進
  - 2) 文化財の保存と活用の推進
    - ・国指定・県指定の有形・無形文化財の保存と活用
    - ・国の文化財指定等に向けた文化財的価値の向上を図るための取組の推進
  - 3) 埋蔵文化財の発掘調査・保護の推進

## 基本方向9 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を好機と捉えスポーツの振興を図る

### 【子どもの運動・スポーツ活動の充実】

- 課題**
- ◆運動習慣の定着が十分でない
  - ◆幼児期の遊びを通じた運動が十分でない
  - ◆小・中学校の競技人口が減少している
  - ◆中・高等学校の部活動加入率が減少している
  - ◆中山間地域などではスポーツ活動が限定される

- 対策**
- 1) 幼児期の遊びを通じた運動機会の充実
  - 2) 学校の体育授業及び体育的活動の充実
  - 3) 教員やジュニアスポーツ指導者の指導力の向上
  - 4) 運動部活動の充実
  - 5) 子どもたちの多様な運動・スポーツの機会の提供
  - 6) 関係組織・団体の連携による効果的な取組の推進

### 【競技力の向上】

- 課題**
- ◆優秀な選手の発掘・育成・強化ができていない
  - ◆全国トップレベルの実績のある指導者が少ない
  - ◆スポーツ医・科学等のサポート体制が十分でない

- 対策**
- 1) ジュニアから一貫した指導体制の確立
  - 2) 優秀な選手の発掘・育成及び効果的な種目変更ができるシステムの構築
  - 3) トップ選手の重点強化及び成果等評価
  - 4) 指導者の資質向上と優秀な指導者の招聘及び受け入れ
  - 5) スポーツ医・科学の効果的な活用
  - 6) 運動部活動の充実【再掲】
  - 7) 多様な競技スポーツ活動の充実

### 【地域における運動・スポーツ活動の活性化】

- 課題**
- ◆成人の運動習慣が十分に定着していない
  - ◆スポーツを通じた地域活性化に資する取組が少ない

- 対策**
- 1) 地域の実情に応じた効果的・継続的な取組の展開
  - 2) 地域スポーツクラブやスポーツ推進委員との連携による取組の推進
  - 3) 女性がスポーツに参加しやすい環境づくり
  - 4) 地域のスポーツ活動の活性化に向けた公共施設の有効利用
  - 5) スポーツの魅力や価値を認識することができる機会の提供

### 【障害者スポーツの充実】

- 課題**
- ◆活動の基盤となる組織体制や施設が十分に整備されていない

- 対策**
- 1) 障害者スポーツを取りまとめる組織体制の充実
  - 2) 特別支援学校・学級における運動・スポーツ活動の充実
  - 3) 障害者スポーツ指導者の育成
  - 4) 障害者スポーツのトップ選手の重点強化
  - 5) 身近な地域におけるスポーツ参加機会の提供

### 【スポーツ施設・設備の整備】

- 課題**
- ◆各競技の拠点施設が十分でない
  - ◆スポーツ活動をサポートするための施設・設備が十分でない
  - ◆地域のスポーツ施設が十分でない

- 対策**
- 1) 拠点となるスポーツ施設の整備
  - 2) スポーツ活動をサポートするための施設・設備の整備
  - 3) 地域のスポーツ施設の整備